

食品に関するリスクコミュニケーションアンケート集計結果(平成18年7月10日開催:徳島県)

参加人数 212 名
アンケート回収者数 185 名

回答率 87 %

Q1 ご自身について、ご回答ください。

1	消費者	127	68.64%
2	食品等事業者(団体含む)	12	6.49%
SQ1	1 農林水産業	1	
	2 製造・加工業	4	
	3 卸売業	5	
	4 小売業	2	
	5 業界団体	0	
	6 その他	0	
3	生産者(団体含む)	2	1.08%
4	地方公務員又は国家公務員	28	15.14%
5	試験検査施設(民間 (団体含む))	2	1.08%
6	その他	11	5.95%

Q2 本日のリスクコミュニケーションの実施について、何でお知りになりましたか。

1	ホームページ	36	19.46%
	1 厚生労働省	24	
	2 食品安全委員会	11	
	3 他のホームページ	1	
2	新聞記事	9	4.86%
3	雑誌記事	1	0.54%
4	ポスター又はちらし	22	11.89%
5	その他	107	57.84%
	食品安全モニターメール(その他)		
	消費者協会の本部からのお知らせ(消費者)		
	学校の紹介(消費者)		
	栄養士会からのお知らせ(消費者)		
	徳島食の安全安心推進委員会からのお知らせ(消費者)		
	知人からの紹介(消費者)		

Q3 本日の「食品に関するリスクコミュニケーション」に参加された目的は次のどれですか。(当てはまるものを全て)

1 関係省庁の食品安全行政の取組の内容を知るため	35	18.92%
2 リスクコミュニケーションの取組について知るため	38	20.54%
3 健康食品の安全性・有効性についての知識を深めるため	138	74.59%
4 常日頃から抱えている食品の安全性に係る意見を行政に表明するため	15	8.11%
5 その他	12	6.49%
学校の授業の一環(消費者)		
いろいろな人の健康食品に対する考えを知ること(消費者)		

Q4 演者からの説明についてお伺いします。説明内容について、十分に理解することができましたか。

1 できた	47	25.41%
2 おおむねできた	114	61.62%
3 あまりできなかった	17	9.19%
4 できなかった	0	0.00%
SQ1	(Q4で「3 あまりできなかった」、「4 できなかった」と回答した方) 十分に理解することができなかった理由は次のどれですか。(当てはまるものを全て)	
1 用語など内容が理解しにくい。	7	
2 説明資料が見にくい	4	
3 説明が聞き取りにくい	0	
4 自分が理解していることとは異なる説明である	1	
5 その他	4	

Q5 本日のリスクコミュニケーションについてお尋ねします。意見交換は分かりやすく、議論の内容等について理解できましたか。

1 できた	21	11.35%
2 おおむねできた	132	71.35%
3 あまりできなかった	12	6.49%
4 できなかった	1	0.54%
SQ1	(Q5で「3 あまりできなかった」、「4 できなかった」と回答した方) 理解できるようにするためには何が必要ですか。(当てはまるものを全て)	
1 専門用語は解説を加えるなど、できるだけわかりやすく説明する。	6	
2 説明等がだらだらと長いので、要点を簡潔に述べる。	5	
3 内容毎に区切って意見交換を行い、議論を拡散しないようにする。	3	
4 最初に全体的な意見交換の流れがわかるよう説明する。	2	
5 その他	3	
発言時間が短かった。(食品事業者)		
範囲が広くて理解しにくかった。		

Q6 本日のリスクコミュニケーションの内容についてお尋ねします。満足できましたか。

	1 できた	26	14.05%
	2 おおむねできた	121	65.41%
	3 あまりできなかった	15	8.11%
	4 できなかった	0	0.00%
SQ1	1 最初の説明が難しく、理解が深まらなかった。	5	
	2 意見交換の時間が短い	0	
	3 説明等が一方的で意見交換になっていない	7	
	4 論点がぼやけるなど、意見交換の進め方に問題がある	3	
	5 意見交換して欲しい内容が取りあげられなかった	2	
	6 その他	4	
		自分の知識が少ないので理解が難しかった(消費者) 説明が聞き取りにくかった(消費者)	

Q7 以下のそれぞれの設問について、【意見交換会に参加する前】、【意見交換会に参加して】当てはまるもの1つを選んでください。

1. 健康食品制度の内容について			
【意見交換会に参加する前】			
	1 知っていた	96	51.89%
	2 知らなかった	63	34.05%
【意見交換会に参加して】			
	1 理解が深まった	122	65.95%
	2 変化なかった	28	15.14%
	3 わからなくなった	0	0.00%
2. 健康食品制度への印象について			
【意見交換会に参加する前】			
	1 安心していた	24	12.97%
	2 どちらともいえない	91	49.19%
	3 不安だった	40	21.62%
【意見交換会に参加して】			
	1 安心感が高まった	58	31.35%
	2 変化なかった	69	37.30%
	3 不安感が高まった	24	12.97%
3. 厚生労働省の取組(リスク管理やリスクコミュニケーション)について			
【意見交換会に参加する前】			

	1 信頼していた	31	16.76%
	2 どちらともいえない	108	58.38%
	3 信頼していなかった	7	3.78%
	【意見交換会に参加して】		
	1 信頼感が深まった	63	34.35%
	2 変化なかった	58	31.35%
	3 不信感が深まった	6	3.24%
SQ1	Q7の3. で厚生労働省の取組について「3 信頼していなかった」、「3 不信感が深まった」と回答された方にお尋ねします。何が問題だとおもわれますか。		
	時代の流れの速さ、新しい製品などに対して対応が後手に回っている。(食品事業者)		
	表示の内容(消費者)		
	規制緩和の動きの中でいかに安全と機能のバランスを食品に求めていくのが不明確でないか。開発費ばかりかかるようだと言薬品と区別つかなくなる(その他)		
	省庁は信用できない(消費者)		

Q8 健康食品について、何が問題だと思われますか。

過剰(不当)な広告、不適切な表示、不十分な取り締まり(その他)	
まだまだ情報不足である。できる限り平易な言葉でしらせてほしい(地方公務員又は国家公務員)	
摂取量が問題(地方公務員又は国家公務員)	
消費者に健康食品についての知識があまりないこと、マスコミなどの情報を信頼しきっていること。(消費者)	
表示(消費者)	
危険をとまなう量が、広く知られていないことだと思う。(消費者)	
良い効果ばかりを宣伝していて、それに対してデメリットはあまり表示されていない。食品を選ぶには、詳細まできちんと知る必要がある。(消費者)	
表示されていることが全部信用できない。(消費者)	
過大効能、宣伝が多すぎる。問題が起きてからしか製造中止にならないのが怖い。(消費者)	
健康という言葉で選びがちになる。情報は多いが、どれが良いか悪いかわかりにくい(消費者)	
表示の内容、本当に表示されているとおりで間違えないか、国の方で検査してもらいたい。(消費者)	
安易に販売を許可しているのではないのでしょうか?(消費者)	
国(消費者)	
消費者の判断のみに任されていて、どの情報が正しいのか解らないこと(消費者)	
医薬品的な効能効果を表記していてもその数が膨大すぎて取り締まりが困難な点(地方公務員又は国家公務員)	
情報が少なすぎる。ホームページはパソコンを持たない者は見られない。(消費者)	
科学的根拠が薄弱である。個体差をどう考えるのか。(その他)	

深く知らないこと(消費者)
依存してしまっていることが問題だ、過信はいけな(消費者)
健康食品というだけで表示に惑わされてしまう。信頼のおける表示、分かりやすくしてほしい(消費者)
解らないのに何でも取り入れること(消費者)
マスメディアの取りあげ方、規制がゆるい(消費者)
過剰摂取(消費者)
消費者の理解度が浅いところがあるのでより分かりやすく明確な働きを提示すべきだと思う(消費者)
含有量と有効量の問題、アレルギー等の体に対する有害作用の問題、複数使用における身体上のマイナス効果の問題(消費者)
厚生労働省の取り組みが具体的に解らないこと(消費者)
テレビなどのマスメディアの影響(消費者)
健康と名が付くこと(消費者)
相互作用について、一般消費者に理解しづらく情報が欲しい(消費者)
あまり低価格で売ると若い方も買いやすくなり乱用が増えるのでは? 足りない成分を補うという思いで使用している人は少ないと思いますし店頭で販売している物はすべて安全で安心できると思っている人が多いと思います(消費者)
わけのわからない企業が販売する食品(地方公務員又は国家公務員)
医薬品と勘違いしている面もあるのでは、デメリットを考慮しない摂取の仕方。内容量と効果の理解不足(地方公務員又は国家公務員)
消費者の知識不足、危機感、情報の仕方、質、量(消費者)
メリットしか強調していないところ(消費者)
消費者として判断する基準は効能と価格などがあると思う。生産者も消費者の気持ちになって作成すべきだ(消費者)
摂取量とリスク表示がないこと(消費者)
特保など以外の食品んには(～によい)の様な表示はしない方がよい(消費者)
正しい情報が消費者に入って来にくい(消費者)
マスメディアでの過大な情報提供、厚生労働省のPRの少なさ(消費者)
成分、効用、副作用などの表示を正確にする必要がある(消費者)
わかりにくい、何が本当に良いのか判断しにくい(消費者)
一般の栄養食品と特保の製品と一緒に売られているので違いをはっきりさせて欲しい(消費者)
表示の内容について信頼性がない(消費者)
はっきり明確にメリットデメリットを言い、商品の横にでも書いておくべき(消費者)
説明文についてもっと分かりやすくしてもらいたい(消費者)
消費者、生産者、行政側それぞれが自立した考えをもって食品を取り扱うことが大切でありそれができていないところがある(消費者)
健康食品だから効くのだという概念が先だって利用目的、方法などに注意することを忘れて使ってしまうところ(地方公務員又は国家公務員)
効果がはっきり解らない。安全性について問題があるのでは(地方公務員又は国家公務員)

情報が科学的根拠に基づいたものでないと思われる。メーカー側の一方通行のものが大部分。消費者が求めている情報とすれ違いがあるのでは(地方公務員又は国家公務員)
保健機能食品の許可の枠が大きすぎるのではないか(消費者)
表示が定められていないこと。定めて表示規制等行うべき(地方公務員又は国家公務員)
消費者が情報を知ろうと行動するかどうかまたそれを誘発できているかどうか(消費者)
有効成分の含有量の設定について各人が自分に必要なものとそうでないものを区別できないまま利用していること。(消費者)
マスコミのサプリメントに対する情報は良しも悪しも大変解りづらい。説明方法を考えるべき(地方公務員又は国家公務員)
取りすぎによるリスクの告知(消費者)
日本人の体質の問題と各個人差における食品と栄養成分を含有しているものの個人摂取量の違い、または各年齢、性別に関する体内消費量の問題(消費者)
メーカー側の意識、技術、行政側の製品に対する規制、管理と消費者への情報提供(その他)
業者は利害関係で”儲かったらよい”というやり方が優先している(消費者)
用法用量が食品には書けないので、よけい過剰摂取となる。(食品等事業者)
医薬品まがいの効能効果等を表現する広告の取り締まりが鈍い(食品等事業者)

- Q9 本日のリスクコミュニケーションの進め方についてお尋ねします。
 今回のリスクコミュニケーションでは、一部を基調講演、第二部をパネルディスカッションと意見交換としています。
 リスクコミュニケーションの構成テーマの選定、募集方法などリスクコミュニケーションのあり方全体について、
 良かったと思う点、改善すべきと思う点につき記載ください。
- 1 良かったと思う点

わかりやすく理解できた。いろんな分野の方でよかった。(消費者)
パネルディスカッションがわかりやすく良かった。(地方公務員又は国家公務員)
パワーポイントを用いての説明がわかりやすかった。(消費者)
資料が見やすく説明もわかりやすかった。(消費者)
いろんな立場の方の意見が聞けたこと。(消費者)
厚生労働省の人の話が聞いて良かった。(消費者)
現在の方法で良いと思う(消費者)
それぞれの分野で専門的に説明された点(消費者)
パネリストの方々の食品に対する意見や知識を述べられ、内容について良く理解できました。(消費者)
自分も不安を持ちながら利用してきましたので今後は自信を持って健康維持のため利用していきたいと思っています。(消費者)
悪いところは悪い、良いところは良いということをはっきり言えていた。(消費者)
適当な時間配分だった。(消費者)
大変ためになった。(消費者)
基調講演、パネルディスカッションともによかった(消費者)

基調講演のお話は本当に良かったです。是非もっと詳しく知りたいと感じました。住民に一番近い市町村栄養士だからこそもっと勉強したいです。(消費者)
パネリストの方のように自分の言葉で自分たちの本心をきちんと伝えることができたら本当の意味でのコミュニケーションがとれるだろうと思いました。(消費者)
パネリストの選定(地方公務員又は国家公務員)
会議の運営の仕方は良かった(地方公務員又は国家公務員)
世界で問題になった時厚生労働省がすぐに対応してマスコミ等に発表して消費者に伝わるようにしているのか(消費者)
食品自体が幅の広い分類であること(消費者)
説明をはじめにまとめていただいて大変分かりやすく後のパネルディスカッションで先生の意見を聞くことができ良かったと思います(消費者)
マスメディアと厚生労働省の関係が解った(消費者)
テーマが興味深く参加することができました(消費者)
遠慮がちな当たり障りのない進め方だと思った(消費者)
問題が起こった時にどこに相談すればいいのか解ったこと(その他)
テーマの選定の内容(消費者)
いろいろな専門分野の人々がディスカッションすることによっていろいろな方面からの意見が聞けた。(消費者)
消費者の意見を発言でき専門家の的確な意見が聞けた。(消費者)
消費者団体の主張会でないのがよかった(食品等事業者)

2 改善すべきと思う点

基準方法についてもっとオープンにしたらいと思う。(消費者)
しゃべりが早かったので、聞き取りづらいところがあった。(消費者)
もう少し活発な議論となれば良かった(食品事業者)
商品を販売する側の意見があれば良いと思う。(消費者)
少し具体例などあれば、より理解しやすいのでは？(消費者)
質問者が専門的すぎて一般の人が質問しにくかった(地方公務員又は国家公務員)
パネリストに食品事業者を増やすべき、パネリストのバランスが悪い(地方公務員又は国家公務員)
パネルディスカッションはもっとポイントを絞って実施するべきではないか(その他)
問題が広すぎて少し外れた意見があったように思えた(消費者)
具体的な健康食品について摂取の方法や必要な場合等を示して欲しかった(地方公務員又は国家公務員)
もっと出席者の意見を聞いて欲しい(地方公務員又は国家公務員、消費者)
ディスカッションは前もって準備されていた気がして新鮮さがなかった(消費者)
自分の発言が言い辛かった(消費者)
参加者には主婦や実際に健康食品を利用している人などを呼んだりして意見交換しやすくした方がよい(消費者)
過大な情報を提供しているマスメディアには処分が必要(消費者)

専門家ではなく一般の消費者についてもいいか悪いか判断できるように考えてあげてほしい(消費者)
マイクの音量が低く聞き取りにくかった(消費者)
グループ討議するようにした方がよい、発表がしやすい(消費者)
パネリストが多すぎる(消費者)
より素材を使った事例(具体的な農作物など)をあげて説明していただきたい(消費者)
資料が多すぎる(消費者)
論点があきらかでなかった(消費者)
最後にまとめて意見を聞くのではなく合間に質問を取るべきだと思います(食品等事業者)
マスコミの代表者も入れる(消費者)
パネラーの方で話が長い人がいた(消費者)
テーマを絞ってもらいたい(消費者)

Q10 今後のリスクコミュニケーションとして、行って欲しい課題は何ですか？(当てはまるものを3つ以内)

1 食品中に混入する汚染物質(メチル水銀、ダイオキシン等)の問題	41
2 食中毒に関する問題	37
3 検疫所や保健所の監視指導に関する問題	34
4 健康食品に関する問題(表示を含む)	49
5 遺伝子組換え食品に関する問題(表示を含む)	67
6 食品添加物に関する問題(表示を含む)	65
7 残留農薬、残留動物用医薬品に関する問題(表示を含む)	57
8 輸入食品に関する問題(表示を含む)	91
9 上記以外の食品の表示に関する問題	7
10 その他	3
良いとされる成分も食べ方で影響が出る場合の情報(消費者)	
国際的な調和(ワトト問題も含め)	